

大谷小中学校だより

NO.12
令和7年3月29日
珠洲市立大谷小中学校

今年度を振り返って

校長 鎌田 香

例年になく雪が多かった今年の2月でしたが、その雪も次第に解け春を感じるようになりました。また、凪いだ大谷の海はどこまでも限りなく青く、春を感じさせてくれます。自然の雄大さを肌で感じながら通勤できる幸せを感じる今日この頃です。

さて、今年度も24日をもって、教育課程を修了することができました。6年生は前期課程の修了式を終え、4月からは後期課程となります。7年生、8年生も進級することになります。4人とも今年度、本当によく頑張りました。卒業式では、「これからは、駿介さんが卒業し、大変なことも多くなるでしょう。しかし、4人で協力してどんなことも乗り越えていきます。駿介さんを中心に作り上げてきた『少数盛栄』の学校を受け継ぎ、活気にあふれ、1人1人が輝く学校を作っていきます。期待しててください。」という在校生の別れの言葉がありました。大変力強い、決意の現れた言葉であると思います。このような言葉が聞かれるということは、この1年間で4人の児童生徒に自信が付いたからだと考えます。「少人数でもできる。少人数だからこそできる。」を追求したからこそやれたことがたくさんありました。5人の児童生徒が協働することで、いくつもの可能性の扉を開けることができました。来年度もぜひ、チャレンジをして、新たな可能性の扉を開けていけるようにしていきたいと思います。

春は、別れと出合いの季節です。9年生の駿介さんとの別れがありました。また、異動によりこれまで共に学んだ先生方との別れがありました。そして、4月には新たな出合いがあります。先行きが見えない、物事が思いどおり進まないなどモヤモヤを抱えると「自律神経」のバランスが乱れるといわれています。そのような中でいくら一生懸命考えようとしてもなかなか良いアイデアが見つからず、モヤモヤが続いてしまいます。このような時は、「睡眠をとる」「運動をする」「入浴する」「深呼吸する」「整理整頓する」など、じっと座っているよりも、まずは立ち上がって行動してみることが効果的なのだそうです。私自身を例に挙げると、子どものころ、一人で空を眺めることが好きで、空を見ながら物思いにふけったり、空を眺めることで暗い気持ちが紛れたり、イライラから落ち着きを取り戻したりすることがよくありました。その頃の私にとって空を眺めることは、時間の流れから離れ、自分に帰る時を与えてくれる方法であったように思います。もしも、イライラやモヤモヤを感じたときに試してみてください。児童生徒の皆さんが事故などなく、有意義な春休みを過ごし、元気に新学期を迎えてくれることを期待しています。

今後も児童生徒が地域のみなさまと協働して様々なことに挑戦し、体験できる機会を作っていきたいと思っています。今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。



地域の方々と大谷ガチャ第2弾の制作を行いました

令和6年度卒業式式辞

校長 鎌田 香

磯波に雪しろ吞まれては白む

大谷町に在住されていた俳人、千田一路先生の句です。

今年は多かった雪も解け、雪解け水は川を流れ、磯波に吞まれる春となりました。

本日、第八回卒業証書授与式を挙げるにあたり、ご多用のところ濱教育委員様、高林産業振興課長様、川端PTA会長様をはじめ、ご来賓並びに保護者の皆様、地域の皆様のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

ただいま卒業証書を授与された 川端 駿介さん、卒業おめでとうございます。

駿介さんは、平成二十八年度に開校した大谷小中学校、最初の新入生として入学し、この学び舎で九年間学び、本日を迎えられました。

この間、五年前のコロナ禍による臨時休業、昨年の地震と豪雨という二度にわたる災害の困難を乗り越えての卒業となりました。特に今年度は、震災のため共に学んできた仲間が転出し、たった一人で、最上級生として全校生をリードしてきたことは、ほんとうに大変であったと思います。しかし、少数盛栄のスローガンのもと、地域の方々とともに笑顔になる取り組みを率先して行ってきました。体育祭と文化祭では、全校生、一人一人が力を出し切れるように工夫し、地域の方々とともに盛り上がり、行事を成功させることができました。

七月に行われた、親子議会では、市長さんに堂々と大谷ガチャの取組を提案しました。駿介さんの提案は周りの人々の心に響き、実現に向けた支援の輪が広がりました。それは、制作した五百個余りのガチャがすべて完売するという大きな成果を上げることにつながりました。

たった一人の修学旅行では、大谷町のPR活動として、東京でのガチャ販売を始め、スカイツリーや日本科学未来館で最先端の技術に触れ、浅草寺では、海外の方の多さに圧倒され、外国語を学ぶ意義を実感することとなるなど、授業での学びを深める絶好の機会となりました。

少人数であるからこそできた中身の濃い授業と少人数だからこそできた様々な方とのつながりによる協働的な学びにより、ほかの中学校以上に深い学びができたこと職員一同、自負しております。

大谷小中学校を巣立つ駿介さんに三つの言葉を送ります。

一つめは「地道に一步ずつ進んでほしい」ということです。これは、今年日米両方の野球殿堂入りを果たしたイチロー選手の言葉でもあります。大きな成果を上げるには、一気にそこに到達するすべはないのです。コツコツと、努力を積み重ねられる人になってください。

二つめは、「芸は身を助ける」ということです。芸を身につけること、つまり、できることを増やすことで人生は豊かになり、落ち込んだ時にもまた歩き出す力を与えてくれます。

「芸は身を助ける」

この言葉を信じてすべての経験を楽しんでほしいです。

三つめは、「ふるさとに誇りをもつ。」ということです。駿介さんが育った地域は、とても素晴らしい場所です。砂取節、祭囃子、揚げ浜式製塩、古代米づくり、百人一首など、学校や公民館行事で、まちの先生方にたくさんのことを学び、経験しました。自然、文化、人、どの点においても誇れるこの地を自信をもって「ふるさと」と紹介するとともに、いつかはこの地に帰ってきてください。

結びになりますが、卒業生の保護者の皆様、九年間の長きにわたり、ご支援・ご協力いただき誠にありがとうございました。私どもは、本日卒業生の川端駿介さんを胸を張って送り出します。これまでの保護者の皆様のご苦勞に感謝するとともに、お子様のさらなる成長をご期待申し上げ、式辞いたします。

■ 第8回卒業証書授与式 3月14日(金)

3月14日(金)に、第8回卒業証書授与式を挙行了しました。濱教育委員様、高林産業振興課長様、川端PTA会長様をはじめ、たくさんの皆様にご臨席を賜りましたことに、感謝申し上げます。春らしい温かな日差しの中で、心温まる卒業式となりました。

卒業生は緊張した面持ちでしたが、式の始めから終わりまで大変凛々しく、立派な態度で参列していました。校長先生から卒業証書を受け取る際にも、「ありがとうございました。」とハッキリとした声で感謝の気持ちを表していました。式後、ご来賓の皆様からは「大変よい式でした。」とお言葉をかけていただきました。

卒業生は、たくさんの方々に見守られ大谷小中学校を巣立つことができました。そして、自分の希望する高校への進学も決定いたしました。これまで、支え見守っていただいた皆様、本当にありがとうございました。



☆卒業を祝し、めだか交通様とはなのわ共感事業協同組合様よりお花をいただきました。また、前期課程修了を祝し、めだか交通様よりお花をいただきました。ありがとうございました。

4月の行事予定

教育活動			教育活動		
1	火	職員会議	16	水	市・県基礎学力調査、職員会議、内科検診
2	水		17	木	全国学力学習状況調査、市基礎学力調査
3	木		18	金	授業参観、PTA総会
4	金	校内研修会	19	土	
5	土		20	日	
6	日	春の全国交通安全運動(～15日)	21	月	
7	月	新任式、始業式	22	火	
8	火	安全点検、	23	水	修学旅行(東京方面)
9	水	避難訓練①(不審者)、交通安全教室	24	木	修学旅行(東京方面)
10	木	避難訓練②(地震津波)	25	金	修学旅行(東京方面)
11	金	身体計測	26	土	
12	土		27	日	
13	日		28	月	
14	月		29	火	昭和の日
15	火		30	水	児童生徒会委員会

令和7年度 教員の異動

この度の定期人事異動により、下記になりました。ありがとうございました。
○大澤あゆみ 教諭(小木小へ) ○直川 歩未 教諭(蛸島小へ) ○作田 善久 教諭(蛸島小へ)
○木下 早映 主事(小木小へ) 新しい勤務地でのご活躍をお祈りいたします。

■ 救助犬との交流会 2月26日(水)

Peace Winds Japan 様のご協力により、救助犬との交流をさせていただきました。災害における救助犬の役割や二酸化炭素など分子レベルまでの匂いを嗅ぎ分けると



いう能力について紹介していただきました。実際に段ボールで作った仕切りの中に隠れて試してみましたが、「さすが!」といった感じてした。

最後はふれあいの時間。動物に触れる子どもたちの顔にとっても癒やされました。



■ コサージュをいただきました 3月6日(木)

3月6日(木)、埼玉県のみくくりエイト様ご提供の「コサージュの花と笑顔満開プロジェクト」企画が行われ、コサージュや図書券のプレゼントをいただきました。あまりのバラエティの豊かさに、少ない本校の児童生徒でしたが、迷いに迷ってしまっていました。本当に子どもたちの顔がニコニコしていて幸せな時間でした。家庭に持ち帰り、喜んでもらえるかと思うと、見ている教員たちも楽しみにになりました。



■ 8年生合同学習 3月6日(木)

来年度の修学旅行は、宝立小中学校と三崎中学校と合同で行うことから、合同学習を行いました。修学旅行で仲良く行動し、楽しい思い出を作ることを目的に行いました。これまでの修学旅行に向けた各校の学びの発表やブレインストーミングなどを行い、互いのことを知り合うことができました。最後は円陣を組んで「みんなで楽しい修学旅行にしよう!」と気持ちを一つにすることができました。



■ 人の輪プロジェクト 3月11日(火)

前期課程が計画していた「第3回人の輪プロジェクト」を行いました。今回は、後期課程とコラボした「大谷ガチャ 第2弾」の取組を行いました。まず最初に後期課程の生徒から、これまでのガチャの取組と、第2弾に向けたプロジェクトの説明がありました。そのあと、地域の方々と一緒に鯉のぼりをリメイクしたタッセルを作りました。とても楽しい時間でした。今回で、今学期の人の輪プロジェクトは終わりますが、来年度も地域の方々となつながら活動をしようと考えています。



写真撮影：まつたに桜

おめでとうございます！
トム・ソーヤースクール企画コンテスト
安藤百福賞受賞！！



OHTANI PRIDE
～震災を乗り越えて
つなげる伝統～

横浜カップヌードル
ミュージアムにて

ありがとうございます！
有効に使わせていただきます！

○亀山様より、ベルマーク、インクカートリッジをたくさんいただきました。ありがとうございます。

○NPO団体「外浦の未来をつくる会」様から、大谷地区仮設住宅イベント「希望をつなぐ雑巾プロジェクト」で作成した雑巾をたくさんいただきました。ありがとうございます。